

# 今後一週間（1月21日～1月27日）の広域予備率（最小予備率）

- 今後、強い寒波の到来が見込まれており、来週の電力需要は高い水準となることが想定されます。
- 一方、予備率は最も低い日でも8%を超えており、現時点では、安定供給に必要な水準を確保できる見通しです。  
※なお、今後更なる気温の低下に伴う電力需要の高まりや、電源のトラブル等によって電力需給の見通しが変化することも考えられます。
- これまでも無理の範囲ない範囲で節電を呼びかけているところですが、引き続き、重ね着などをして室温を少し低めにする、使っていない部屋の照明を消す、冷蔵庫の冷やしすぎを調整する、お風呂での追い炊きをせずにできるだけ間を置かずに入るなど、各社が実施する節電プログラムの利用なども含め、節電の取組に御協力いただきますようお願いいたします。

[%]

日にち	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
1月21日 (土)	22.3	22.3	22.3	20.3	20.3	20.3	20.3	20.3	20.3	45.1
1月22日 (日)	22.0	22.1	22.1	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	23.0	42.9
1月23日 (月)	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	57.1
1月24日 (火)	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	50.7
1月25日 (水)	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	58.3
1月26日 (木)	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	49.7
1月27日 (金)	12.3	12.3	12.3	12.3	12.3	12.3	12.3	12.3	12.3	57.0

※1 週間見通し時点で供給力に含まれている追加対策：冬季追加公募電源の運転（回数制限のないもの）

週間見通し時点で供給力に含まれていない追加対策：冬季追加公募電源の運転（回数制限があるもの）、厳気象対応用電源の運転、火力発電所の増出力運転、自家用発電機の焚き増し、供給電圧調整 等 → 今後の電力需給の状況を踏まえ、これらの対策を順次講じていく。

※2 最小予備率の想定発生時刻は月、平日・祝日、エリアによって異なる。例えば12月前半の平日は、沖縄以外のエリアで18時00分～18時30分に発生すると想定。

（参照）第63回調整力等及び需給バランス評価等に関する委員会 資料4

[https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2021/files/chousei\\_63\\_04.pdf](https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2021/files/chousei_63_04.pdf)

# 今週一週間（1月14日～1月20日）の各エリアの電力需要実績

【万kW】

日にち	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
1月14日 (土)	432	1,017	3,605	1,546	341	1,758	719	332	957	90
1月15日 (日)	431	1,025	3,616	1,419	323	1,654	697	320	985	87
1月16日 (月)	514	1,272	4,444	1,946	420	2,032	817	393	1,219	91
1月17日 (火)	502	1,290	4,636	2,128	445	2,167	923	411	1,247	90
1月18日 (水)	503	1,313	4,430	2,076	452	2,176	887	402	1,301	91
1月19日 (木)	487	1,309	4,347	2,085	443	2,160	910	415	1,311	88
1月20日 (金) <sup>※1</sup>	471	1,293	4,393	2,112	437	2,134	942	424	1,280	90

※1 現時点の想定値（30分値）

（注）東京電力管内における1月の10年に一度の寒さを想定した  
需要は5,443万kW（不等時性<sup>※3</sup>を考慮した値）

※2 冬季においては、気温が1℃低下した場合、例えば東京電力管内では、電力需要が80万kWほど増加することが想定される。  
また、東京電力管内で雪が降った場合には、電力需要がさらに400万kWほど増加する可能性がある。

※3 過去の最大需要の実績を踏まえ、各エリアで最大需要を記録する日時が必ずしも一致していない点を考慮し、各ブロックの需要減少率分だけ需要を割り引くこと。  
なお、不等時性を考慮しない場合の東京電力管内における1月の10年に一度の寒さを想定した需要においても5,443万kW。

# 【参考】1月21日～1月27日の 最小予備率発生時における需給見通し

(出典) 広域予備率Web公表システム

<https://web-kohyo.occto.or.jp/kks-web-public/>

日にち	エリア名	エリア需要 (万kW)	エリア供給力 (万kW)	広域予備率 (%)
1月21日	北海道	452	510	22.3
	東北	1,180	1,487	22.3
	東京	3,969	4,999	22.3
	中部	1,700	2,106	20.3
	北陸	370	549	20.3
	関西	2,090	2,282	20.3
	中国	820	917	20.3
	四国	390	481	20.3
	九州	1,143	1,352	20.3
	沖縄	88	128	45.1
1月22日	北海道	441	490	22.0
	東北	1,220	1,386	22.1
	東京	3,931	5,080	22.1
	中部	1,630	2,020	20.8
	北陸	370	509	20.8
	関西	1,940	2,110	20.8
	中国	800	896	20.8
	四国	380	482	20.8
	九州	1,149	1,448	23.0
	沖縄	90	128	42.9
1月23日	北海道	475	524	10.5
	東北	1,380	1,549	10.5
	東京	5,090	5,506	10.5
	中部	2,082	2,344	10.5
	北陸	473	518	10.5
	関西	2,320	2,557	10.5
	中国	900	1,008	10.5
	四国	430	507	10.5
	九州	1,382	1,540	10.5
	沖縄	88	138	57.1

日にち	エリア名	エリア需要 (万kW)	エリア供給力 (万kW)	広域予備率 (%)
1月24日	北海道	478	540	8.7
	東北	1,438	1,588	8.7
	東京	4,799	5,198	8.7
	中部	2,211	2,353	8.7
	北陸	511	537	8.7
	関西	2,450	2,701	8.7
	中国	1,010	1,061	8.7
	四国	470	511	8.7
	九州	1,448	1,612	8.7
	沖縄	92	139	50.7
1月25日	北海道	494	558	8.7
	東北	1,443	1,606	8.7
	東京	4,983	5,432	8.7
	中部	2,161	2,359	8.7
	北陸	513	538	8.7
	関西	2,470	2,670	8.7
	中国	1,040	1,092	8.7
	四国	480	511	8.7
	九州	1,480	1,603	8.7
	沖縄	95	150	58.3
1月26日	北海道	481	536	10.2
	東北	1,436	1,607	10.2
	東京	5,010	5,422	10.2
	中部	2,091	2,367	10.2
	北陸	489	524	10.2
	関西	2,440	2,699	10.2
	中国	950	1,044	10.2
	四国	470	511	10.2
	九州	1,426	1,587	10.2
	沖縄	92	138	49.7
1月27日	北海道	458	519	12.3
	東北	1,381	1,589	12.3
	東京	4,646	5,259	12.3
	中部	2,033	2,301	12.3
	北陸	482	524	12.3
	関西	2,290	2,500	12.3
	中国	910	1,011	12.3
	四国	450	513	12.3
	九州	1,440	1,602	12.3
	沖縄	88	138	57.0

# 【参考】1月21日～1月27日の 最大需要発生時における需給見通し

(出典) 広域予備率Web公表システム

<https://web-kohyo.occto.or.jp/kks-web-public/>

日にち	エリア名	エリア需要 (万kW)	エリア供給力 (万kW)	広域予備率 (%)
1月21日	北海道	452	510	22.3
	東北	1,180	1,487	22.3
	東京	3,969	4,999	22.3
	中部	1,700	2,106	20.3
	北陸	370	549	20.3
	関西	2,090	2,282	20.3
	中国	820	917	20.3
	四国	390	481	20.3
	九州	1,143	1,352	20.3
	沖縄	88	128	45.1
1月22日	北海道	441	490	22.0
	東北	1,220	1,386	22.1
	東京	3,931	5,080	22.1
	中部	1,630	2,020	20.8
	北陸	370	509	20.8
	関西	1,940	2,110	20.8
	中国	800	896	20.8
	四国	380	482	20.8
	九州	1,149	1,448	23.0
	沖縄	90	128	42.9
1月23日	北海道	505	553	10.8
	東北	1,394	1,595	10.8
	東京	5,180	5,515	10.5
	中部	2,162	2,412	10.5
	北陸	478	577	10.5
	関西	2,350	2,574	10.5
	中国	960	1,057	10.5
	四国	440	538	10.5
	九州	1,421	1,637	10.5
	沖縄	88	138	57.1

日にち	エリア名	エリア需要 (万kW)	エリア供給力 (万kW)	広域予備率 (%)
1月24日	北海道	504	547	16.3
	東北	1,440	1,658	16.3
	東京	4,765	5,657	16.3
	中部	2,323	2,706	13.1
	北陸	518	591	13.1
	関西	2,460	2,725	13.1
	中国	1,060	1,133	13.1
	四国	490	569	13.1
	九州	1,489	1,649	13.1
	沖縄	92	139	50.7
1月25日	北海道	506	558	11.5
	東北	1,460	1,593	11.5
	東京	5,099	5,659	11.5
	中部	2,314	2,741	11.5
	北陸	544	602	11.5
	関西	2,510	2,714	11.5
	中国	1,070	1,126	11.5
	四国	500	590	11.5
	九州	1,522	1,731	11.5
	沖縄	95	150	58.3
1月26日	北海道	497	556	14.3
	東北	1,450	1,608	14.3
	東京	5,169	6,020	14.3
	中部	2,322	2,649	14.3
	北陸	528	598	14.3
	関西	2,490	2,764	14.3
	中国	990	1,087	14.3
	四国	490	614	14.3
	九州	1,466	1,706	14.3
	沖縄	92	138	49.7
1月27日	北海道	460	524	12.6
	東北	1,410	1,625	12.6
	東京	4,947	5,389	11.7
	中部	2,224	2,509	11.7
	北陸	511	591	11.7
	関西	2,410	2,658	11.7
	中国	960	1,072	11.7
	四国	470	614	11.7
	九州	1,481	1,649	11.7
	沖縄	88	138	57.0

# 最新の気象予報を反映させた東京電力管内の電力需要

日時		1月21日 (土)	1月22日 (日)	1月23日 (月)	1月24日 (火)	1月25日 (水)	1月26日 (木)	1月27日 (金)
		18:00 ~ 18:30	18:30 ~ 19:00	18:00 ~ 18:30	18:00 ~ 18:30	18:00 ~ 18:30	18:00 ~ 18:30	18:00 ~ 18:30
1/17 (火) 14時時点 気象予報を 反映したもの	天気(※1) 最高気温/最低気温(※2) (見通し策定時予報)	晴のち曇 7.1/1.6	曇時々晴 6.8/0.2	雪のち曇 3.2/0.9	晴 6.5/0.2	晴 4.4/-1.5	晴のち曇 5.3/-3.8	曇 6.5/2.0
	エリア需要(万kW)	3,969	3,931	5,090	4,799	4,983	5,010	4,646
	エリア供給力(万kW)	4,999	5,080	5,506	5,198	5,432	5,422	5,259
	最小広域予備率(%)	22.3	22.1	10.5	8.7	8.7	10.2	12.3
1/19 (木) 14時時点 最新の 気象予報を 反映したもの	天気(※1) 最高気温/最低気温(※2) (1/19 14時時点最新気象予報)	晴のち曇 8.3/2.4	晴のち曇 8.3/0.4	曇時々雪 3.3/0.8	曇のち晴 7.9/0.4	晴時々曇 4.0/-2.0	晴のち曇 4.6/-2.8	晴時々曇 8.5/0.5
	エリア需要(万kW)	3,883 (▲86)	3,870 (▲61)	5,060 (▲30)	4,599 (▲200)	5,052 (+69)	5,117 (+107)	4,565 (▲81)
エリア供給力への影響 (気象予報の変化に伴う太陽光出力の増減の見込み)		-	-	-	-	-	-	-

※1 「東京」の当日の天気を記載。

※2 電力需要の算出に用いる東京電力管内における9地点（東京、宇都宮、前橋、水戸、熊谷、千葉、横浜、甲府、三島）の加重平均気温を30分コマ毎に算出した際の日最大値を最高気温とし、日最小値を最低気温として記載。

# 過去10年間における1月のエリア最大電力需要実績

【万kW】(年度)

エリア	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 <sup>※2</sup>
北海道	540 <sup>※1</sup>	522 <sup>※1</sup>	504 <sup>※1</sup>	519	525	517	488	541	501	514
東北	1,359	1,337	1,319	1,371	1,461	1,367	1,264	1,480	1,483	1,350
東京	5,100 <sup>※1</sup>	5,103 <sup>※1</sup>	4,976 <sup>※1</sup>	4,899	5,124	4,918	5,042	5,094	5,374	4,636
中部	2,293 <sup>※1</sup>	2,190 <sup>※1</sup>	2,339 <sup>※1</sup>	2,337	2,378	2,345	2,161	2,409	2,448	2,199
北陸	485	476	501	515	541	495	450	534	541	457
関西	2,445 <sup>※1</sup>	2,453 <sup>※1</sup>	2,516 <sup>※1</sup>	2,476	2,560	2,432	2,254	2,595	2,540	2,291
中国	1,001 <sup>※1</sup>	987 <sup>※1</sup>	1,111 <sup>※1</sup>	1,031	1,096	999	1,014	1,124	1,044	954
四国	471 <sup>※1</sup>	454 <sup>※1</sup>	481 <sup>※1</sup>	473	508	448	431	507	470	440
九州	1,407	1,347	1,541	1,447	1,540	1,336	1,338	1,606	1,466	1,269
沖縄	107 <sup>※1</sup>	104 <sup>※1</sup>	122 <sup>※1</sup>	97	107	96	97	119	102	91

※1 発電端実績（それ以外は送電端実績）

※2 2022年度は1月17日までの最大電力需要実績

# 【参考】2022年1月の電力需要について

- 昨年1月の使用率ピークは97%であり、その時の最大電力実績は5,273万kW。

2022年1月

2022年1月

需要ピーク時		使用率ピーク時				
日	月	火	水	木	金	土
						1 22:00-23:00 86% 実 3,372 供 3,893
2 8:00-9:00 87% 実 3,459 供 3,955	3 0:00-1:00 86% 実 2,968 供 3,429	4 15:00-16:00 88% 実 3,464 供 3,911	5 19:00-20:00 89% 実 4,539 供 5,058	6 15:00-16:00 97% 実 5,273 供 5,432	7 9:00-10:00 97% 実 5,173 供 5,328	8 0:00-1:00 90% 実 3,593 供 3,975
9 0:00-1:00 83% 実 3,305 供 3,980	10 11:00-12:00 89% 実 3,809 供 4,255	11 13:00-14:00 90% 実 4,767 供 5,295	12 16:00-17:00 88% 実 4,529 供 5,095	13 15:00-16:00 90% 実 4,304 供 4,781	14 17:00-18:00 91% 実 4,812 供 5,266	15 9:00-10:00 87% 実 4,121 供 4,691
16 9:00-10:00 83% 実 3,733 供 4,485	17 14:00-15:00 88% 実 4,214 供 4,768	18 18:00-19:00 89% 実 4,870 供 5,430	19 13:00-14:00 91% 実 4,467 供 4,906	20 21:00-22:00 91% 実 4,424 供 4,837	21 19:00-20:00 92% 実 4,889 供 5,277	22 9:00-10:00 89% 実 4,183 供 4,668
23 15:00-16:00 90% 実 3,708 供 4,120	24 20:00-21:00 86% 実 4,378 供 5,076	25 15:00-16:00 87% 実 4,389 供 4,997	26 10:00-11:00 89% 実 4,767 供 5,322	27 8:00-9:00 87% 実 4,519 供 5,186	28 8:00-9:00 84% 実 4,470 供 5,311	29 23:00-24:00 83% 実 3,373 供 4,059
30 15:00-16:00 86% 実 3,578 供 4,140	31 18:00-19:00 86% 実 4,614 供 5,350					

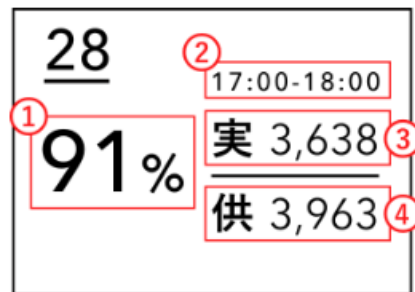
実 最大電力実績

供 ピーク時供給力

単位：万kW

月内の最大電力実績日  
※翌月2日から表示いたします。

最大電力実績カレンダーの見方



- ① 使用率実績
- ② 最大電力が発生した時間帯
- ③ 最大電力実績（単位：万kW）
- ④ ピーク時供給力（単位：万kW）

※枠内が■の日は月内の最大電力実績日を表します。

(出典)

東京電力パワーグリッド でんき予報

<https://www.tepco.co.jp/forecast/html/calendar-j.html?month=1>

# 過去10年間における1月のエリア最大需要電力時の気象状況

エリア	最大需要電力（万kW）	年月日	時間	気象観測地	天気	気温（℃）
北海道	541	2021年1月19日	11:00～12:00	札幌	雪	▲6.6
東北	1,483	2022年1月18日	9:00～10:00	仙台	雪	▲1.6
東京	5,374	2022年1月6日	16:00～17:00	東京	雪	▲0.2
中部	2,448	2022年1月14日	9:00～10:00	名古屋	晴	1.8
北陸	541	2018年1月25日	9:00～10:00	金沢	曇	▲0.5
関西	2,595	2021年1月12日	10:00～11:00	大阪	雪	2.8
中国	1,124	2021年1月8日	9:00～10:00	広島	晴	▲0.9
四国	508	2018年1月24日	18:00～19:00	高松	晴	▲1.6
九州	1,606	2021年1月7日	18:00～19:00	福岡	雪	▲1.0
沖縄	122※	2016年1月24日	19:00～20:00	那覇	雨	7.8

※ 発電端実績（それ以外は送電端実績）

（出典）気象庁 過去の気象データ検索 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>



# 10年に一度の寒さを想定した1月の最大需要電力と供給力

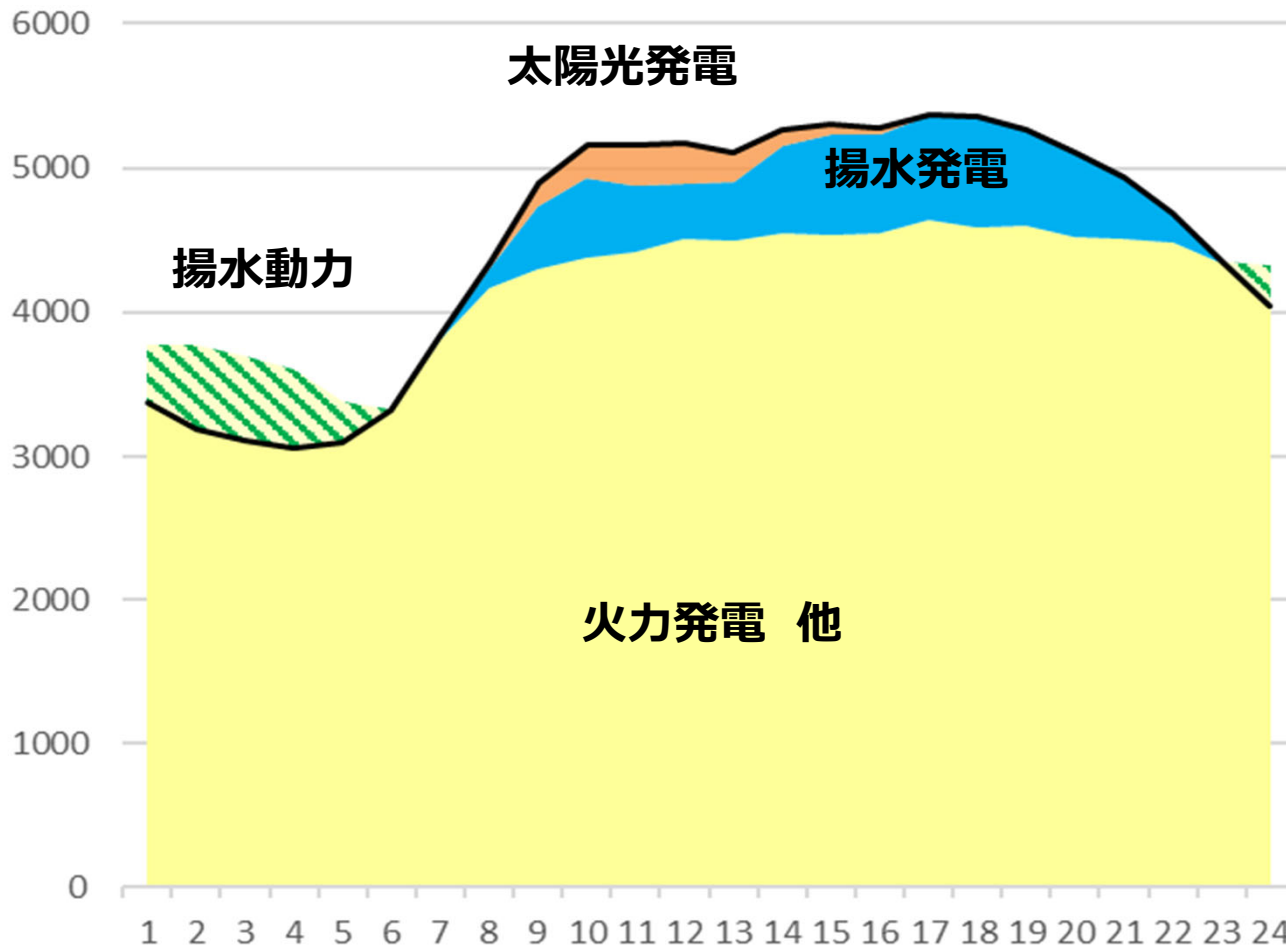
【万kW】

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
最大 需要電力	542	1,484	5,443	2,419	548	2,623	1,120	506	1,589	119
供給力	585	1,546	5,668	2,554	579	2,770	1,183	534	1,678	158

# 東京電力管内で積雪があった際のロードカーブ事例

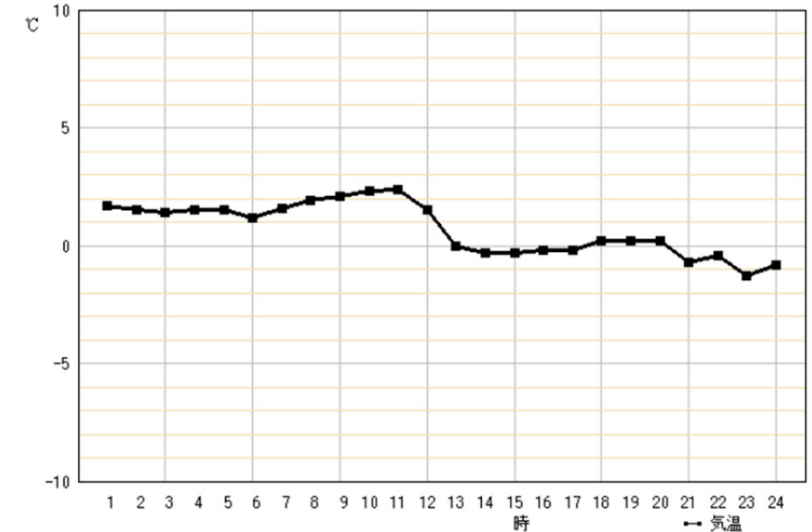
2022年1月6日(木) **冬季最大**

最大需要: 5,374万kW



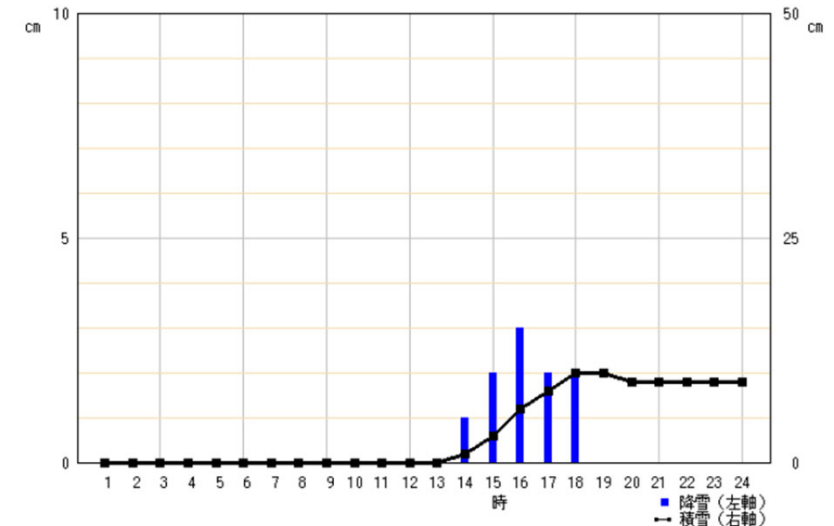
2022年1月6日(木) 東京都 気温(℃)

東京 2022年1月6日 (1時間ごとの値) 気温



2022年1月6日(木) 東京都 降雪・積雪 (cm)

東京 2022年1月6日 (1時間ごとの値) 雪



(出典) 左図: 2022年1月6日のロードカーブ 東京電力PGより作成

右図: 2022年1月6日 東京都 気温、積雪・降雪 気象庁HP 過去の気象データ検索 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

## 1月13日～1月19日に計画外停止をした発電所

エリア	発電事業者	発電所名	発電形式	ユニット名	認可出力 (万kW)	停止日	復旧(予定)日	停止原因
東京	鹿島共同火力株式会社	鹿島共同	火力 (ガス)	5号機	30	2023/1/16	2023/1/17	燃料調整の為
東京	JFEスチール株式会社	扇島火力	火力 (ガス)	2号機	14.2	2023/1/16	2023/1/18	燃料系統計器不具合
北海道	北海道電力株式会社	新冠	水力	2号機	10	2023/1/17	2023/1/17	付帯設備不具合

## 2022年12月以降に計画外停止をした発電所で復旧予定日未定の発電所

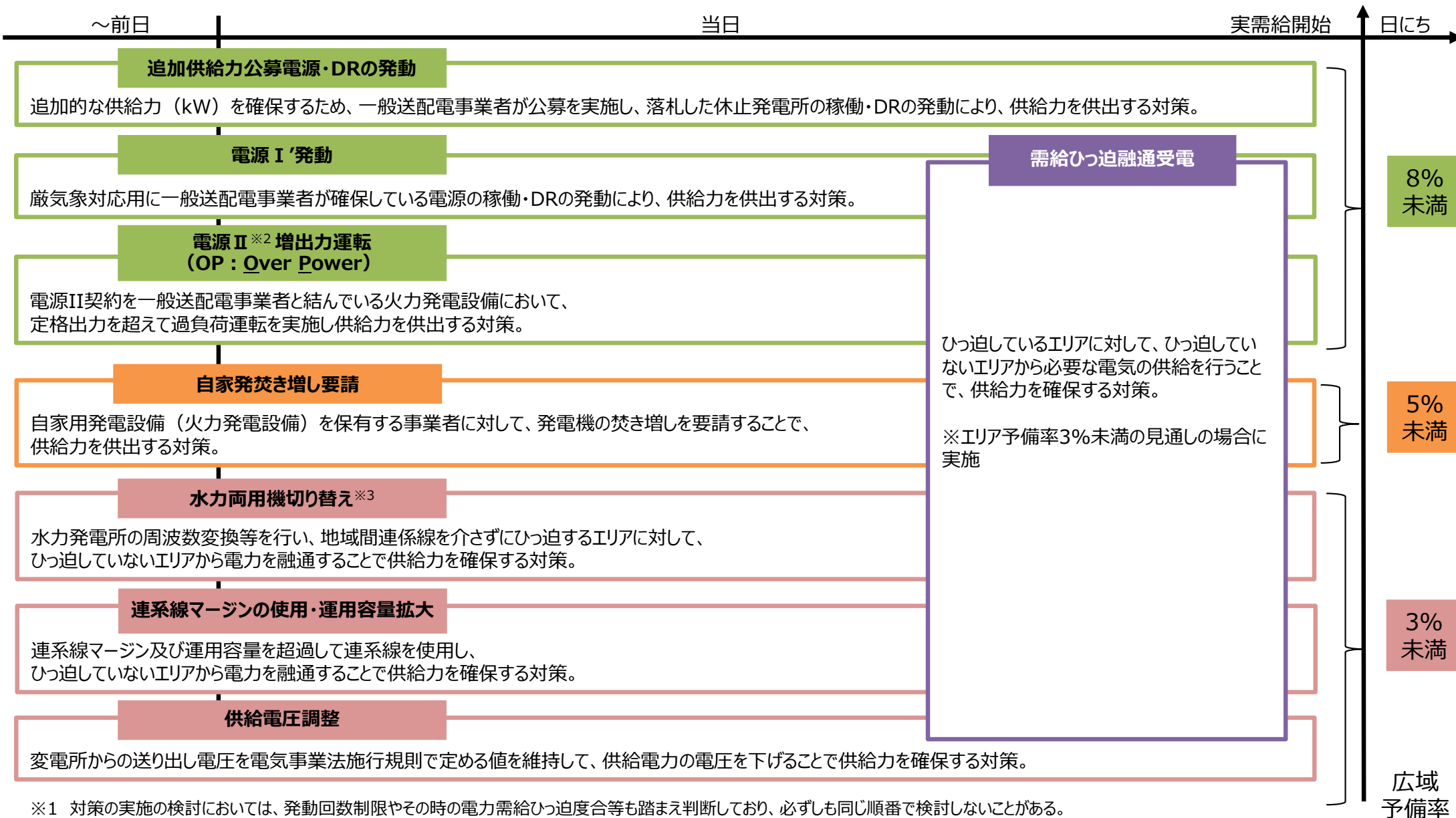
エリア	発電事業者	発電所名	発電形式	ユニット名	認可出力 (万kW)	停止日	復旧予定日	停止原因
沖縄	沖縄電力株式会社	牧港	火力 (石油)	9号機	12.5	2022/12/29		タービン設備不具合
四国	四国電力(株)	西条	火力 (石炭)	2号機	25	2023/1/3		ボイラ設備修繕
四国	住友共同電力株式会社	新居浜	火力 (石炭)	3号機	15	2023/1/5		発電機不具合

(出典) 発電情報公開システム (H J K S) 1月19日20時00分時点

<https://hjks.jepx.or.jp/hjks/top>

# 【参考】追加供給力対策について

- 各種追加供給力対策の前から実需給開始までに検討する対策※1の順序と実施判断基準の予備率については以下のとおり。
- また、調整の見通しがたったものから随時予備率に加味していく。



※1 対策の実施の検討においては、発動回数制限やその時の電力需給ひっ迫度合等も踏まえ判断しており、必ずしも同じ順番で検討しないことがある。

※2 電源Ⅱとは、小売電気事業者の供給力などと一般送配電事業者の調整力の相乗りとなる電源。

※3 水力両用機は小売事業者が供給力調達した発電機であるため、本対策の発動に関しては、連系線を活用できない場合に小売電気事業者の承諾を得て供給エリアを切り替えて使用する。

# 【参考】kW公募・kWh公募の実施実績

- 2021年度冬季以降、供給力対策として、kW公募・kWh公募を実施。

## 1. kW公募の実績

	2021年度冬季	2022年度夏季	2022年度冬季
募集量	55.0万kW（最大80.0万kW）	120.0万kW（最大140.0万kW）	東北・東京エリア：103.0万kW（最大170.0万kW） 中部～九州6エリア：99.0万kW（最大190.0万kW）
対象エリア	東京エリア	北海道・沖縄除く8エリア	北海道・沖縄除く8エリア
対象設備	電源及びDR	電源及びDR	電源及びDR
応札量	64.4万kW（うちDR 5.5万kW）	145.7万kW（うちDR 0.4万kW）	130.5万kW（うちDR 1.1万kW） 185.6万kW（うちDR 8.9万kW）
落札量	63.1万kW（うちDR 5.2万kW）	135.7万kW（うちDR 0.4万kW）	東北・東京エリア：77.9万kW（うちDR 1.1万kW） 中部～九州6エリア：185.6万kW（うちDR 8.9万kW）

## 2. kWh公募の実績

	2021年度冬季	2022年度夏季	2022年度冬季
募集電力量	3億kWh	10億kWh（最大14億kWhまで） （各社の応札量によっては落札量が9億kWhに満たない場合がある）	20億kWh（最大22億kWhまで）
対象エリア	沖縄を除く全国9エリア	沖縄を除く全国9エリア	沖縄を除く全国9エリア
対象設備	電源及びDR ※追加性の確認あり	電源及びDR ※追加性の確認あり	電源及びDR ※追加性の確認あり
応札電力量	4.96億kWh（12件）	9.3億kWh（4件）	18.6億kWh（6件）
落札電力量	4.19億kWh（4件） （うちDR0.02億kWh）	9.3億kWh（4件）（DRなし）	18.6億kWh（6件）（DRなし）

# 節電プログラム促進事業について

- 需給ひっ迫時に、簡単に電気の効率的な使用を促す仕組みの構築に向け、小売電気事業者等の節電プログラムへの①登録と②実行への支援を行う。12月から本格実施を開始。
- 参加する小売電気事業者等は、大手電力・新電力あわせて約280社（12/15時点）であり、販売電力量総計に占める割合は95%超。
- 参加需要家は、約460万件（低圧）、約20万件（高圧・特高）（12/15時点）で、更なる拡大に向けて広報を実施中。

## 第1弾：登録支援

この冬の需給ひっ迫に備え、節電に協力いただける需要家を増やすため、節電プログラムに登録いただいたご家庭や企業に一定額のポイント等付与（低圧（家庭等）：2,000円、高圧特高（企業）：20万円）

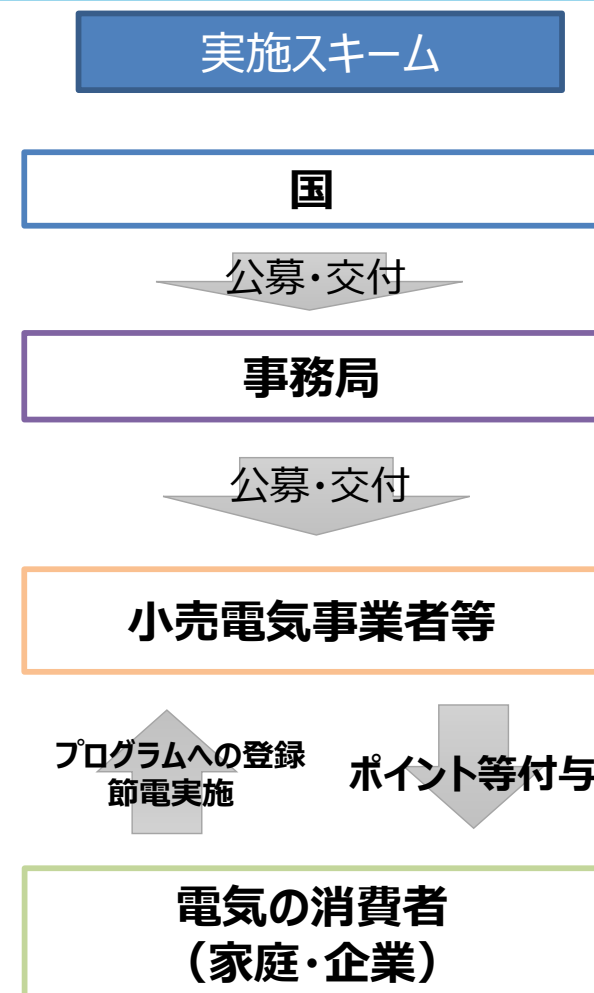
## 第2弾：実行支援

電力需要が高まる12月～3月に、現在のまだ厳しい需給の見通しを踏まえ、対価支払型の節電プログラム※に参加して、一層の省エネに取り組んでいただいた家庭や企業に対して、電力会社によるポイント等の特典に、国による特典を上乗せする支援

※対象となるプログラムは以下のとおり。

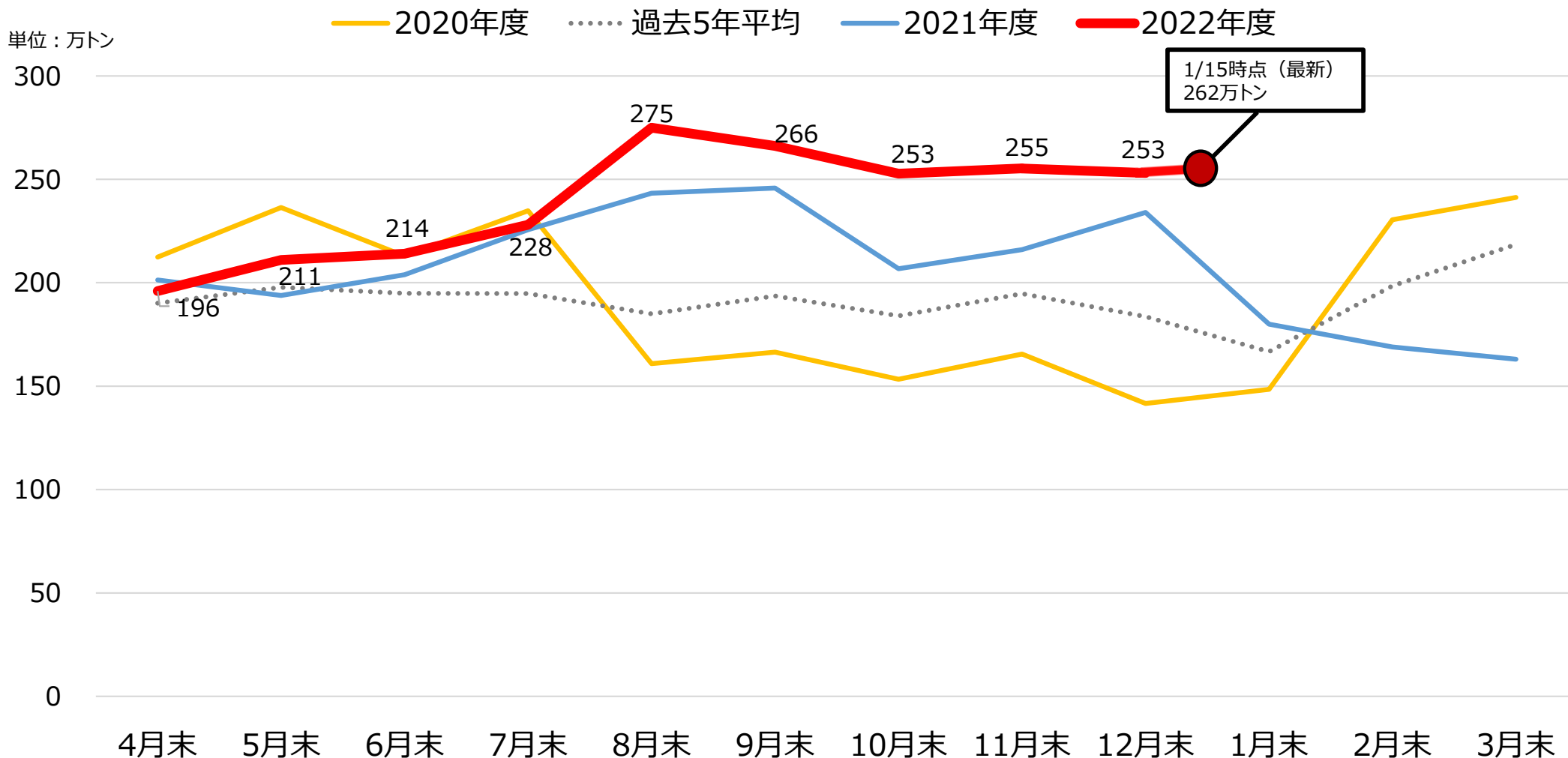
- ① 月間型（kWh）プログラム：前年同月比で一定の電力使用量を削減した場合、達成として評価し、対価を支払う（低圧：1000円/月、高圧特高：2万円/月の上乗せ）
- ② 指定時型（kW）プログラム：電力会社が指定する日時に、電力使用量を削減した場合、削減量に応じた特典を提供（需給ひっ迫注意報・警報時40円/kWh、その他20円/kWh上限での同額上乗せ）

## 実施スキーム



# 大手電力会社のLNG在庫の推移（2023年1月15日時点）

- 発電用LNGの在庫状況について、週1度の調査を実施している。
- 今年の春以降、大手電力会社の在庫は増加傾向にあり、最新（1/15時点）の在庫は、過去5年間平均や昨年水準を上回る水準となっている。



※大手電力会社に対する調査に基づき資源エネルギー庁作成  
※在庫量はデッド（物理的に汲み上げ不可な残量）を除く数量。